

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人明日香学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	ブライダル学科	夜・通信	1200 時間	160 時間	
	ホテル観光学科 日本人コース	夜・通信	1260 時間	160 時間	
文化・教養専門課程		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

説明会で配布。その他、希望者には郵送にて公表
[Http://www.asuka-hw.ac.jp](http://www.asuka-hw.ac.jp)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人明日香学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[Http://www.asuka-hw.ac.jp](http://www.asuka-hw.ac.jp) 希望者には学校備え付けの「理事名簿」を閲覧してもらう。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	設計事務所所長	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日	法人の経営アドバイス
非常勤	食品製造会社会長	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日	法人コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人 明日香学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。		
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)		
【取り組みについては次の通りです】		
時期	過程	内容
9月・3月 (年2回)	カリキュラム編成委員会	ブライダルとホテル業界の専門家を招き、本校のブライダル学科・ホテル観光学科のカリキュラムについて議論する。現場の意見を伺い、今後、改善していくべき講義内容や、講義方法について議論する。
9月・3月 (年2回)	教務会議	カリキュラム編成委員会で議論された内容を各講師に伝え、議論し、次年度の改善されるべき各講師の講義内容について話し合う。この内容をシラバスに反映させる旨を伝える。
3月後半 9月後半	シラバス作成	教務会議で話し合われた内容を軸に講師自身の科目内容を吟味し、各講師がシラバスを作成し、教務部に提出する。
4月・10月 (授業開始)	シラバス公開	授業開始時にシラバスを学生に公開。また、教室内に掲示する。
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページに公表 http://www.asuka-hw.ac.jp ・学生には入学者オリエンテーションにて配布。 	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。		

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価

各学期末（前期・後期）試験の点数と平常点を加味した総合点で評価する。
評価の配分は、学期末試験 70%、平常点 30% で評価する。
平常点は、授業態度と教科の課題（小テスト・提出物）を基に評価する。

平常点 評価方法 合計 30 点			
授業態度	20 点	優秀（特に問題なし）	20 点
		良好	15 点
		普通	10 点
		改善必要	5 点
課題	10 点	優秀（しっかり勉強している）	10 点
		良好	8 点
		普通	6 点
		要注意	2 点

*出席率は平常点に含まれません。出席率 85%未満の学生は、試験を受けることはできませんが、補習を受け出席率 85%にならない限り、試験結果は反映されません。

*試験結果が 60 点未満であれば、即追試。

*試験結果は 60 点以上だが、平常点が悪い為に、D（不可）になった場合は、特別課題提出。

・成績評価（各学期末試験の点数+平常点）

AA	100～90点
A	80～89点
B	70～79点
C	60～69点
D	59点以下 追試験

- ・各教科課目評価点 60 点以上の場合は、当該教科課目の習得とみなす。
- ・座学教科課目評価点 59 点以下の者は、当該教科課目の追試を受験する
- ・実技教科課目評価点及び追試考查点 59 点以下の者は、当該教科課目の補講を受講する

・履修認定

各教科の 85%の出席をしていること。
学期末試験において 60 点以上を取得すること。
追試験において、60 点以上取得すること。

・履修方法

講義形式・実習形式

補習

・評価

各教科において、85%の出席率を満たしていない者は、補習を行う。内容は、担任教員が指定する。

・履修認定

教員の指定する課題を全て期間中に終了すること。

・履修方法

講義形式又は自習形式

学籍簿の評定は、各学期の成績表記載点の平均を付け、

AA (90 点以上)

A (80 点以上)

B (70 点以上)

C (60 点以上)

D (59 点以下) 追試検 60 点以上取得で進級、卒業 (1 回の追試で 60 点未満のものは追々試験)

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

・評価の算出方法

履修科目の成績評価は、各教科を 100 点満点（学期末試験 70%と平常点 30%）とし、各教科の総合計を出し、その総合計を履修科目数で割ることにより平均点を算出し、評価とする。下記の表に当てはめて評価を決定。

$$\text{評価} = \frac{\text{各科目の点数の総合計}}{\text{履修すべき科目数}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学校ホームページに公表 <https://www.asuka-hw.ac.jp>

4、卒業の認定に関する方針を定め、公表すると共に、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1、卒業認定

建学の精神およびアドミッションポリシーに基づく教育方針に則り、社会に貢献する人材にふさわしい態度・知識・技能を有した者、さらに本校学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を科目群毎に修得したものに對し、専門士の称号を与える。

- ◆感謝の気持ちを忘れない姿勢
- ◆相手の気持ちを汲み取れる感性
- ◆他人との違いを受け入れることが出来る人材
- ◆独自の発想力を備える人
- ◆資格取得に積極的に取り組む姿勢

2、卒業要件

- (1) 学則で定める必要な単位数を履修していること。
- (2) 各教科において85%以上の出席をしていること。
- (3) 学期末試験において60点以上を取得していること

3、卒業の認定に関する方針の適切な実施

上記の卒業の認定に関する方針や、要件に沿った学生を卒業判定会議にかけ、卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校ホームページに公表 <https://www.asuka-hw.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人 明日香学園 理事長 田中 由視

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。
収支計算書又は損益計算書	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。
財産目録	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。
事業報告書	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。
監事による監査報告（書）	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ブライダル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1770時間	405時間	単位時間 /単位	660時間	単位時間 /単位	705時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
55人		22人	0人	2人	17人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業方法は講義・実習・実技をバランスよく行い、偏った修得内容にならないよう心掛ける。年間の授業計画は、年2回の教務会議において策定する。またカリキュラム編成委員会を年2回開催し、現在のカリキュラム、シラバスに関し評価し、変更、追加があれば提言をいただく。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、各学期末（前期・後期）試験の点数と平常点を加味した総合点で評価する。評価の配分は、学期末試験70%、平常点30%で評価する。平常点は、授業態度と教科の課題（小テスト・提出物）を基に評価する。

平常点 評価方法 合計 30 点			
授業態度	20 点	優秀 (特に問題なし)	20 点
		良好	15 点
		普通	10 点
		改善必要	5 点
課題	10 点	優秀 (しっかり勉強している)	10 点
		良好	8 点
		普通	6 点
		要注意	2 点
<p>* 出席率は平常点に含まれません。出席率 85%未満の学生は、試験を受けることはできますが、補習を受け出席率 85%にならない限り、試験結果は反映されません。</p> <p>* 試験結果が 60 点未満であれば、即追試。</p> <p>* 試験結果は 60 点以上だが、平常点が悪い為に、D (不可) になった場合は、特別課題提出。</p>			

・成績評価 (各学期末試験の点数+平常点)

AA	100～90点
A	80～89点
B	70～79点
C	60～69点
D	59点以下 追試験

・履修認定

各教科の 85%の出席をしていること。
 学期末試験において 60 点以上を取得すること。
 追試験において、60 点以上取得すること。

・履修方法

講義形式・実習形式

補習

・評価

各教科において、85%の出席率を満たしていない者は、補習を行う。内容は、担任教員が指定する。

・履修認定

教員の指定する課題を全て期間中に終了すること。

・履修方法

講義形式又は自習形式

卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 多様な人間性の向上、コミュニケーション能力の向上、各種資格試験の積極的な受験と合格、就職・進学への意欲的な取り組みを総合的に判断する。 前述を踏まえ、学則に則り必要な単位数を取得している。 全科目 3 分の 2 以上の出席をクリアーしていること。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) 個人面談を月一回又は必要な時に行い生徒の状況を把握する。また、成績未達、授業日数不足の者については、追試・補習・補講を行う。</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0 %)	4 人 (100.0%)	0 人 (0 %)
<p>(主な就職、業界等) 結婚式場・ホテル・ジュエリー販売・エステ</p>			
<p>(就職指導内容) 面接練習 (1;1 又は 1 ; 多数、グループ面接)、履歴書 (主として志望動機) 書き方。</p>			
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) ブライダルコーディネーター技能検定/色彩検定/マナープロトコール検定</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	1 人	6.3%
<p>(中途退学の主な理由) 疾病</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面接・カウンセリング</p>		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校
設置者名	学校法人 明日香学園 理事長 田中 由視

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。
収支計算書又は損益計算書	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。
財産目録	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。
事業報告書	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。
監事による監査報告（書）	希望者には学校備え付けの「財務・経営情報」ファイルを開覧してもらう。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ホテル観光学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800時間	945時間	時間	150時間	単位時間 /単位	705時間
単位時間/単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		83人	77人	1人	17人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業方法は講義・実習・実技をバランスよく行い、偏った修得内容にならないよう心掛ける。年間の授業計画は、年2回の教務会議において、策定する。またカリキュラム編成委員会を年2回開催し、現在のカリキュラム、シラバスに関し評価し、変更、追加があれば意見をいただく。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、各学期末（前期・後期）試験の点数と平常点を加味した総合点で評価する。評価の配分は、学期末試験70%、平常点30%で評価する。平常点は、授業態度と教科の課題（小テスト・提出物）を基に評価する。

平常点 評価方法 合計 30 点			
授業態度	20 点	優秀 (特に問題なし)	20 点
		良好	15 点
		普通	10 点
		改善必要	5 点
課題	10 点	優秀 (しっかり勉強している)	10 点
		良好	8 点
		普通	6 点
		要注意	2 点
<p>* 出席率は平常点に含まれません。出席率 85%未満の学生は、試験を受けることはできますが、補習を受け出席率 85%にならない限り、試験結果は反映されません。</p> <p>* 試験結果が 60 点未満であれば、即追試。</p> <p>* 試験結果は 60 点以上だが、平常点が悪い為に、D (不可) になった場合は、特別課題提出。</p>			

・成績評価 (各学期末試験の点数+平常点)

AA	100～90点
A	80～89点
B	70～79点
C	60～69点
D	59点以下 追試験

・履修認定

各教科の 85%の出席をしていること。
 学期末試験において 60 点以上を取得すること。
 追試験において、60 点以上取得すること。

・履修方法

講義形式・実習形式

補習

・評価

各教科において、85%の出席率を満たしていない者は、補習を行う。内容は、担任教員が指定する。

・履修認定

教員の指定する課題を全て期間中に終了すること。

・履修方法

講義形式又は自習形式

卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 多様な人間性の向上、コミュニケーション能力の向上、各種資格試験の積極的な受験と合格、就職・進学への意欲的な取り組みを総合的に判断する。 前述を踏まえ、学則に則り必要な単位数を取得している。 全科目 85%以上の出席をクリアーしていること。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) 個人面談を月一回又は必要な時に行い生徒の状況を把握する。また、成績未達、授業日数不測の者については、追試・補習・補講を行う。</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	1人 (3.1%)	18人 (56.3%)	13人 (40.6%)
<p>(主な就職、業界等) ホテル・旅館・自動車販売会社</p>			
<p>(就職指導内容) 面接練習 (1;1 又は 1 ; 多数、グループ面接)、履歴書 (主として志望動機) 書き方。</p>			
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) ホテルビジネス実務経験/レストランサービス検定/マナープロトコール検定</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	5人	13.5%
<p>(中途退学の主な理由) 経済的理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任の面接及びカウンセリング</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ブライダル 学科	100,000 円	600,000 円	328,670 円	
ホテル観光 学科 (日本人)	100,000 円	600,000 円	285,870 円	
ホテル観光 学科 (留学生)	100,000 円	295,000 円	265,500 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページに公表 https://www.asuka-hw.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校の建学の精神及び教育理念を達成すべく、教育活動及び学校運営の状況について、自己点検・評価を行う。評価結果を踏まえ、その評価が適切に行われているか、本校の卒業生が就職しているホテル及びブライダル業界の役員及び代表者(2名)、またホテルに勤務中の卒業生(1名)計3名が学校運営、教育活動や学習成果について、学校関係者委員として評価する。 評価された内容について、学校運営等の改善をするための指針とし、教頭を中心として全職員のもと、改善の到達を短期(1年以内)②中期(1年以上3年以内)③長期(3年以上)に区分し、着実に改善できるように周知徹底し実践する。 ・開催日時 令和2年12月15日		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ホテルマネージャー	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業側委員
ブライダル会社経営	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業側委員
ホテル勤務	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページに公表 https://www.asuka-hw.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

学校ホームページに公表 <https://www.asuka-hw.ac.jp>